

2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月1日

上場会社名 株式会社TOKAIホールディングス
コード番号 3167 URL <https://www.tokaiholdings.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小栗 勝男

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役常務執行役員 総務本部長 (氏名) 山田 潤一

TEL 054-275-0007

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	164,676	0.3	8,797	3.9	8,968	33.8	4,934	75.2
2023年3月期第3四半期	164,249	9.9	8,466	8.5	6,705	28.1	2,816	39.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 6,754百万円 (72.5%) 2023年3月期第3四半期 3,916百万円 (1.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	37.78	37.78
2023年3月期第3四半期	21.52	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	196,419	84,899	42.1
2023年3月期	193,339	82,304	41.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 82,672百万円 2023年3月期 80,184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		16.00		16.00	32.00
2024年3月期		16.00			
2024年3月期(予想)				16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	4.3	15,000	0.5	15,000	12.9	8,500	31.5	65.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	139,679,977 株	2023年3月期	139,679,977 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	9,054,371 株	2023年3月期	9,105,687 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	130,602,941 株	2023年3月期3Q	130,879,419 株

(注)期末自己株式数については、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式(2024年3月期3Q 730,500株、2023年3月期 782,100株)を含めております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式については、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式(2024年3月期3Q 753,204株、2023年3月期3Q 477,412株)を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、エネルギー分野においては引き続き原材料の仕入れ価格が高止まりの状況で推移したものの、政府による消費者向けの緩和措置等の各種政策により、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、深刻化する人手不足や物価上昇への対応が課題となっております。

このような状況のなか、当社グループは新たに「中期経営計画2025」を策定し2023年5月に公表いたしました。この中期経営計画では、当社グループの持続的成長に向け①事業収益力の成長、②持続的成長基盤の強化、③人財・組織の活力最大化の3つをキーマッセージとして掲げております。

当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、グループの継続取引顧客件数は41千件増加（前年同期は64千件増加）し、3,341千件となりました。TLC会員数は43千件増加（前年同期は53千件増加）し、1,201千件となりました。グループ顧客件数の増加等により、売上高は164,676百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は8,797百万円（同3.9%増）となりました。また、持分法投資損失の負担減少等により経常利益は8,968百万円（同33.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,934百万円（同75.2%増）と、前年同期を上回りました。

当第3四半期連結累計期間におけるトピックスとしては、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みの一環として2023年7月に、フィリピン共和国において再生可能エネルギー発電事業を展開するPure Energy Holdings Corporationグループに出資いたしました。2023年8月には、三重県伊勢市にLPガス販売の営業拠点を新設し、事業基盤の拡大について順調な成果をあげております。2023年10月には、アマゾン ウェブ サービス（AWS）*のパートナー認定制度であるAWSパートナーネットワークにおいて、最上位レベルの「AWSプレミアティアサービスパートナー」に国内14社目として昇格いたしました。2023年12月には、洋上風力発電の開発に取り組む株式会社アルバトロス・テクノロジーに出資いたしました。当社グループでは引き続き低・脱炭素化に向けた取り組みを推進してまいります。

*アマゾン ウェブ サービス（AWS）：Amazon Web Services, Inc. が提供するクラウドサービス。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間よりセグメントの記載順序を変更しております。

（エネルギー）

LPガス事業につきましては、引き続き顧客獲得を推進した結果、需要件数は前連結会計年度末から22千件増加し767千件となりました。一方、仕入れ価格に連動した販売価格の引き下げや高気温等による家庭用ガス販売量の減少により、売上高は56,491百万円（前年同期比1.8%減）となりました。

都市ガス事業につきましては、需要件数は前連結会計年度末並みの75千件となりました。また、原料費調整制度の影響により、売上高は12,780百万円（同5.7%減）となりました。

これらにより、当セグメントの売上高は69,271百万円（同2.5%減）となり、営業利益は1,333百万円（同8.3%増）となりました。

（情報通信）

コンシューマー向け事業につきましては、ISP事業は大手携帯キャリアとの提携による獲得強化、モバイル事業はLIBMOのサービスメニューの拡充や固定回線とのセットプラン等により顧客獲得を推進いたしました。これらの施策の結果、ブロードバンド顧客は前連結会計年度末から3千件増加し667千件、LIBMOは前連結会計年度末から6千件増加し77千件となり、売上高は18,220百万円（同0.1%増）となりました。

法人向け事業につきましては、キャリアサービス及びクラウドサービスが順調に進捗したことにより、売上高は23,601百万円（同9.9%増）となりました。

これらにより、当セグメントの売上高は41,822百万円（同5.4%増）、営業利益は2,965百万円（同18.7%増）となりました。

（CATV）

CATV事業につきましては、地域密着の事業者として地元の情報発信や番組制作に注力するとともに、大手動画配信事業者と提携する等コンテンツの充実を努めてまいりました。また、新規エリアにおいても営業活動を積極的に実施したことで、放送サービスの顧客件数は前連結会計年度末から4千件増加し918千件、通信サービスの顧客件数は前連結会計年度末から16千件増加し389千件となりました。

これらにより、当セグメントの売上高は26,673百万円（同4.6%増）、顧客獲得に係る先行投資等により営業利益は4,142百万円（同1.8%減）となりました。

(建築設備不動産)

建築設備不動産事業につきましては、大型の土木工事や設備工事が減少したこと等により、当セグメントの売上高は17,585百万円(同6.7%減)、営業利益は506百万円(同21.5%減)となりました。

(アクア)

アクア事業につきましては、2023年4月に浄水サーバーの取扱いを開始し、更なる顧客基盤の拡充に取り組みました。また、大型商業施設等での催事営業やWEB獲得、テレマーケティング等の非対面営業により、顧客件数は前連結会計年度末から2千件増加し166千件となりました。

これらにより、当セグメントの売上高は5,796百万円(同1.3%増)、営業利益は277百万円(同58.1%増)となりました。

(その他)

その他の事業のうち、介護事業につきましては利用者数が増加したことにより、売上高は1,058百万円(同1.9%増)となりました。船舶修繕事業につきましては、工事量の減少により、売上高は962百万円(同9.2%減)となりました。婚礼催事事業につきましては利用状況の回復により、売上高は931百万円(同26.5%増)となりました。

これらにより、当セグメントの売上高は3,526百万円(同2.3%増)、営業利益は33百万円(同74.3%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は196,419百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,079百万円の増加となりました。これは主として、季節的要因等により受取手形、売掛金及び契約資産が2,826百万円減少した一方で、デリバティブ評価差額資産の増加等により流動資産「その他」が2,115百万円、有形固定資産が1,824百万円、投資有価証券の増加等により投資その他の資産「その他」が1,132百万円、現金及び預金が763百万円、それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債合計は111,519百万円となり、前連結会計年度末と比較して484百万円の増加となりました。これは主として、長期借入金が2,403百万円、未払法人税等が1,675百万円、賞与支給等により流動負債「その他の引当金」が1,511百万円、支払手形及び買掛金が1,301百万円、それぞれ減少した一方で、短期借入金が7,076百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は84,899百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,595百万円の増加となりました。これは主として、剰余金の配当4,203百万円を実施した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益4,934百万円を計上したことに加え、繰延ヘッジ損益が964百万円、その他有価証券評価差額金が889百万円、それぞれ増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)は、前連結会計年度末から920百万円増加し4,949百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、17,873百万円の資金の増加(前年同期比+7,234百万円)となりました。これは法人税等の支払、仕入債務の減少等により資金が減少した一方で、税金等調整前四半期純利益、売上債権の減少及び非資金項目である減価償却費等の要因により資金が増加したことによるものであります。

また、前期に比べて営業活動によるキャッシュ・フローが大幅に増加しておりますが、これは税金等調整前四半期純利益の増加に加え、棚卸資産の増加額及び法人税等の支払額がそれぞれ減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、13,567百万円の資金の減少(同△2,715百万円)となりました。これは有形及び無形固定資産の取得に加え、有価証券の取得による支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,400百万円の資金の減少(同△3,994百万円)となりました。これは借入金による資金調達等の一方で、借入金及びリース債務の返済、配当金の支払等を行ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は概ね予定通り進捗しており、2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月9日に公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,359	5,123
受取手形、売掛金及び契約資産	29,899	27,072
商品及び製品	5,448	5,328
仕掛品	1,130	1,796
原材料及び貯蔵品	1,589	1,546
その他	9,850	11,966
貸倒引当金	△454	△467
流動資産合計	51,824	52,367
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	36,188	36,671
機械装置及び運搬具（純額）	26,038	26,304
土地	24,841	24,932
その他（純額）	23,316	24,300
有形固定資産合計	110,384	112,209
無形固定資産		
のれん	5,904	5,630
その他	4,588	4,519
無形固定資産合計	10,492	10,150
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	4,092	4,145
その他	16,785	17,917
貸倒引当金	△243	△374
投資その他の資産合計	20,634	21,688
固定資産合計	141,511	144,048
繰延資産	3	3
資産合計	193,339	196,419

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,801	18,500
短期借入金	15,753	22,830
未払法人税等	2,247	571
その他の引当金	1,570	59
その他	21,673	21,420
流動負債合計	61,046	63,382
固定負債		
長期借入金	30,855	28,451
その他の引当金	342	297
退職給付に係る負債	1,377	1,476
その他	17,412	17,911
固定負債合計	49,988	48,137
負債合計	111,034	111,519
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,000	14,000
資本剰余金	25,566	25,567
利益剰余金	38,526	39,257
自己株式	△2,601	△2,561
株主資本合計	75,492	76,263
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,458	2,347
繰延ヘッジ損益	—	964
為替換算調整勘定	741	843
退職給付に係る調整累計額	2,492	2,252
その他の包括利益累計額合計	4,692	6,408
新株予約権	36	50
非支配株主持分	2,083	2,177
純資産合計	82,304	84,899
負債純資産合計	193,339	196,419

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	164,249	164,676
売上原価	102,720	100,848
売上総利益	61,529	63,827
販売費及び一般管理費	53,063	55,030
営業利益	8,466	8,797
営業外収益		
受取利息	11	11
受取配当金	212	234
受取手数料	22	22
その他	275	256
営業外収益合計	521	525
営業外費用		
支払利息	200	227
持分法による投資損失	2,001	75
その他	80	52
営業外費用合計	2,282	354
経常利益	6,705	8,968
特別利益		
固定資産売却益	28	171
投資有価証券売却益	103	3
負ののれん発生益	51	—
伝送路設備補助金	87	71
補助金収入	3	9
特別利益合計	274	255
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	592	896
投資有価証券評価損	—	33
特別調査費用	312	—
特別損失合計	905	931
税金等調整前四半期純利益	6,073	8,292
法人税、住民税及び事業税	2,191	2,761
法人税等調整額	918	494
法人税等合計	3,109	3,255
四半期純利益	2,964	5,037
非支配株主に帰属する四半期純利益	148	102
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,816	4,934

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,964	5,037
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	821	889
繰延ヘッジ損益	—	964
為替換算調整勘定	△5	10
退職給付に係る調整額	△241	△239
持分法適用会社に対する持分相当額	378	93
その他の包括利益合計	952	1,717
四半期包括利益	3,916	6,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,766	6,651
非支配株主に係る四半期包括利益	149	103

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,073	8,292
減価償却費	11,342	11,747
のれん償却額	738	719
負ののれん発生益	△51	—
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△310	△295
受取利息及び受取配当金	△223	△245
投資有価証券売却損益 (△は益)	△103	△3
支払利息	200	227
持分法による投資損益 (△は益)	2,001	75
固定資産売却損益 (△は益)	△28	△170
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	33
固定資産除却損	592	896
売上債権の増減額 (△は増加)	991	3,020
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,390	△245
仕入債務の増減額 (△は減少)	615	△1,328
その他	△1,257	△933
小計	17,191	21,788
法人税等の支払額	△6,552	△3,915
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,638	17,873
投資活動によるキャッシュ・フロー		
利息及び配当金の受取額	278	282
有価証券の取得による支出	△1,154	△1,097
有価証券の売却による収入	145	18
有形及び無形固定資産の取得による支出	△10,645	△12,553
有形及び無形固定資産の売却による収入	298	564
貸付けによる支出	—	△560
貸付金の回収による収入	603	8
その他	△379	△230
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,852	△13,567
財務活動によるキャッシュ・フロー		
利息の支払額	△204	△231
短期借入金の純増減額 (△は減少)	10,550	7,459
リース債務の返済による支出	△3,448	△3,636
長期借入れによる収入	5,950	5,400
長期借入金の返済による支出	△7,919	△8,186
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△4,324	△4,195
その他	△8	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	594	△3,400
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	15
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	381	920
現金及び現金同等物の期首残高	4,447	4,028
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,828	4,949

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの記載順序を変更しております。これに伴い、前第3四半期連結累計期間の報告セグメントの記載順序を同様に變更しております。

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー	情報通信	CATV	建築設備 不動産	アクア	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	71,069	39,662	25,510	18,840	5,720	160,803	3,446	164,249	—	164,249
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	159	3,064	358	971	203	4,757	264	5,021	△5,021	—
計	71,228	42,726	25,868	19,811	5,924	165,560	3,710	169,271	△5,021	164,249
セグメント利益 又は損失 (△)	1,231	2,498	4,218	645	175	8,769	129	8,899	△433	8,466

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、婚礼催事事業、船舶修繕事業、介護事業、保険事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー	情報通信	CATV	建築設備 不動産	アクア	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	69,271	41,822	26,673	17,585	5,796	161,149	3,526	164,676	—	164,676
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	120	4,008	304	753	218	5,406	252	5,659	△5,659	—
計	69,392	45,830	26,978	18,339	6,015	166,556	3,779	170,335	△5,659	164,676
セグメント利益 又は損失 (△)	1,333	2,965	4,142	506	277	9,226	33	9,259	△462	8,797

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、婚礼催事事業、船舶修繕事業、介護事業、保険事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。